

付属図表(東京都公立図書館長協議会の「報告書」より抜粋して作成)

平成15年度

	人口	館数	年間資料費(2003年度 単位:千円)	蔵書数	図書資料貸出数		予約受付件数	1館当り人口	人口1人当り資料費(単位:円)	人口1人当り蔵書数	1館当り個人貸出数	1館当り団体貸出数	1館当り予約受付件数	インターネット予約	利用者用インターネット
					個人	団体									
千代田区	43,910	4	42,644	288,803	440,713	1,407	48,374	10,978	971	6.6	110,178	352	12,094	図書・雑誌のみ	1
文京区	182,649	11	104,507	927,712	2,040,039	88,256	250,798	16,604	572	5.1	185,458	8,023	22,800		×
台東区	167,335	4	51,941	518,812	1,675,505	13,680	183,592	41,834	310	3.1	418,876	3,420	45,898		1
品川区	338,132	10	162,657	984,614	1,994,542	78,182	333,439	33,813	481	2.9	199,454	7,818	33,344		4
墨田区	231,291	5	58,248	700,283	898,408	50,833	99,851	46,258	252	3.0	179,682	10,167	19,970	×	
江東区	412,496	11	162,711	1,378,705	3,467,909	84,925	818,852	37,500	394	3.3	315,264	7,720	74,441		1
大田区	667,321	16	160,653	1,563,857	3,132,027	55,883	393,514	41,708	241	2.3	195,752	3,493	24,595	×	×
豊島区	252,296	8	89,589	748,216	1,653,995	36,946	233,487	31,537	355	3.0	206,749	4,618	29,186	図書のみ	1
中野区	308,915	8	70,087	976,497	1,587,238	18,844	108,505	38,614	227	3.2	198,405	2,356	13,563	×	1
板橋区	522,588	12	132,628	1,345,132	2,527,814	18,838	151,212	43,549	254	2.6	210,651	1,570	12,601	×	×
足立区	644,522	16	122,758	1,832,233	3,494,931	183,600	295,958	40,283	190	2.8	218,433	11,475	18,497	×	×
11区平均	342,860	10	105,311	1,024,079	2,083,011	57,399	265,235	34,789	307	3.0	221,718	5,547	27,908		

練馬区 680,415 11 169,602 1,380,747 4,812,388 48,816 1,053,803 61,856 249 2.0 437,490 4,438 95,800

利用者用インターネットの + 数字 の数字は、利用できる館数を表しています。
また、利用者がインターネットを開始する前に再起動をかける(練馬区では徹底している)ことが行われていない区もあります。

特徴: 極めて少ない資料費、蔵書数の下で、委託11区と比べ頭抜けた貸出・予約サービスを行っています。

K区のあると図書館では入り口を入ると黄色いおそろいのスカーフをした女性がカウンターに座り、見た目にも心地が良いです。が、「K区の行政評価に関する資料を見たい」と持ちかけると、内線電話で誰かと話し、1~2分くらい立って男性職員が現れ、地域資料の棚に案内し、一生懸命さがしていました。
S区ではカウンターに同じユニホームの職員が二人と、まちまちなエプロンをした職員がいて、中国人と思われる方が日本語検定に関する資料と受験時期について聞いていました。受験時期についてはなかなか分からないようで、カウンター内の4人は互いに相談しあい、ユニホームの職員が神田の三省堂に電話をかけ、ようやく解決をみたようです。その途中に割り入って、「S区の行政評価」に関する資料を請求すると、1~2分たつて男性職員が現れ、趣旨を話すと、待つこと20~30分、7~8年前の行政改革に関する資料を出してきました。
練馬区では直近の行政改革に関する資料をさがすのにこんなに苦労することはありません。委託された他の区の住民はお気の毒です。

2004年11月1日発行 発行責任者: 関 日奈子